

作成日 2026 年 1 月 10 日

「情報公開文書」 (Web ページ掲載用)

受付番号： 2025-1-849

課題名：日本産科婦人科内視鏡学会への内視鏡手術に関する情報の登録

1. 研究の対象

2014 年 11 月～2026 年 12 月に当機関産婦人科で内視鏡手術を受けられた方

2. 研究期間

2014 年 11 月～2026 年 12 月

3. 試料・情報の利用及び提供を開始する予定日

当機関で試料・情報の利用を開始する予定日及び外部への提供を開始する予定日は以下の通りです。

利用開始予定日：該当なし

提供開始予定日：2026 年 2 月 15 日

4. 研究目的

本研究は、全国の医療施設における手術・治療情報・合併症のデータベース作成と、その報告です。日本全国の産婦人科内視鏡下手術の現状の把握および適正な医療水準を維持するために全国調査を行うことで、医療の質と安全性の向上に役立てることができます。

本研究により、各医療施設の特徴や課題をはっきりと理解した上で改善にとりくむことができます。また、手術にともなうリスクを理解した上で、患者さんやご家族とともに手術・治療の方針を決定することができるようになります。このようにより良い医療の提供に繋がることを目指しております。

加えて、さまざまな研究と連携することで、臨床現場がさらに充実した医療を提供できるようとりくむ手助けをすることができます。

これらの目的を達成するために、一般社団法人 日本産科婦人科内視鏡学会において、認定研修施設および技術認定医制度と連携した内視鏡下手術症例登録のデータベースを構築しております。

5. 研究方法

本研究の参加施設では、共通の入力システムを用いて手術ごとに情報をコンピューター上に入力します。入力システムに入力された情報は、本研究の参加施設で1年分をまとめてインターネット上での暗号化通信を経て日本産科婦人科内視鏡学会の登録システムに登録されます。

登録システムに登録される情報は、患者さん個人が特定できないように匿名加工が行われたものになります。また、登録されたデータは日本産科婦人科内視鏡学会のデータベースに保存され管理、解析されます。

6. 研究に用いる試料・情報の種類

患者さんから発生する試料はございません。

日本産科婦人科内視鏡学会の登録システムに登録される情報は、手術ごとに診療録から抽出されカテゴライズされた、診断名、施行手術術式、手術時間、合併症の有無、合併症の内容、合併症の程度、合併症の転帰、手術日と患者番号から算出されたハッシュ値となります。

す。ハッシュ値は情報の一意性を担保するためのもので解析や二次研究には利用されません。

7. 外部への試料・情報の提供

情報は個人が特定できないよう氏名等を削除し、電子的配信により日本産科婦人科内視鏡学会へ提供します。

対応表は、当機関の研究責任者が保管・管理します。

8. 研究組織

日本産科婦人科内視鏡学会 調査普及委員会

研究責任者：

原田 省（鳥取大学医学部産科婦人科）

研究分担者：

谷口 文紀（鳥取大学医学部産科婦人科）

宮本 雄一郎（東京大学医学部産婦人科）

山上 亘（慶應義塾大学医学部産婦人科）

山本 泰弘（久我山病院産婦人科）

症例登録施設は以下参照

日本産科婦人科内視鏡学会公式ホームページ <https://www.jsgoe.jp/system/enquete/>

9. 利益相反（企業等との利害関係）について

当機関では、研究責任者のグループが公正性を保つことを目的に、情報公開文書において企業等との利害関係の開示を行っています。

本研究は、日本産科婦人科内視鏡学会事業費により遂行します。本研究の研究責任者、研究分担者は、利益相反について日本産科婦人科内視鏡学会へ申告し、その審査と承認を得ています。

外部との経済的な利害関係等によって、研究で必要とされる公正かつ適正な判断が損なわれる、または損なわれるのではないかと第三者から懸念が表明されかねない事態を「利益相反」と言います。

本研究は、研究責任者のグループにより公正に行われます。本研究の利害関係については、現在のところありません。今後生じた場合には、所属機関において利益相反の管理を受けたうえで研究を継続し、本研究の企業等との利害関係について公正性を保ちます。

この研究の結果により特許権等が生じた場合は、その帰属先は研究機関及び研究者等になります。あなたには帰属しません。

10. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて研究対象者もしくは研究対象者の代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも研究対象者に不利益が生じることはありません。

当機関における照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

担当者の所属・氏名：東北大学病院婦人科 渡邊 善

住所：宮城県仙台市青葉区星陵町 1-1

連絡先：022-717-7745

当機関の研究責任者：東北大学病院婦人科科 島田 宗昭

研究代表者：鳥取大学医学部産科婦人科 原田 省

◆個人情報の開示等に関する手続

本学が保有する個人情報のうち、本人の情報について、開示、訂正及び利用停止を請求することができます。

保有個人情報とは、本学の役員又は職員が職務上作成し、又は取得した個人情報です。

- 1) 診療情報に関する保有個人情報については、東北大学病院事務部医事課が相談窓口となります。詳しくは、下記ホームページ「配布物 患者さまの個人情報に関するお知らせ」をご覧ください。（※手数料が必要です。）

【東北大学病院個人情報保護方針】

<http://www.hosp.tohoku.ac.jp/privacy.html>

- 2) 1)以外の保有する個人情報については、所定の請求用紙に必要事項を記入し情報公開室受付窓口に提出するか又は郵送願います。詳しくは請求手続きのホームページをご覧ください。（※手数料が必要です。）

【東北大学情報公開室】<http://www.bureau.tohoku.ac.jp/kokai/disclosure/index.html>

※注意事項

以下に該当する場合には全部若しくは一部についてお応えできないことがあります。

- ①研究対象者等又は第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害するおそれがある場合
- ②研究機関の研究業務の適正な実施に著しい支障を及ぼすおそれがある場合
- ③法令に違反することとなる場合